

令和3・4年度複合構造委員会 第4回委員会 議事録

日 時：令和5年1月19日(木) 14:00～17:00

場 所：土木学会講堂と Zoom の併用

出席者：(敬称略)

＜土木学会講堂＞三ツ木顧問，松本委員長，牧副委員長，齋藤幹事長，下村委員，瀧本委員，橋本委員，溝江委員，横田委員，大久保幹事，平幹事，仁平幹事，橋本幹事，皆田幹事，山本幹事

＜オンライン＞上田顧問，中島顧問，中村(俊一)顧問，秋本委員，新井委員，安藤委員，池田委員，大西委員，奥井委員，片委員，栗橋委員，小森委員，杉浦委員，鈴木委員，高嶋委員，玉井委員，趙委員，利根川委員，中村(光)委員，西崎委員，樋原委員，畑委員，藤山委員，古市委員，古内委員，松本委員，宮下委員，山田委員，吉川委員，渡辺委員，川端幹事，北根幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，内藤幹事(合計49名)

配布資料：

- 委 4-0 令和3・4年度 第3回複合構造委員会 議事次第
- 委 4-1 令和3・4年度 複合構造委員会 委員名簿
- 委 4-2 令和3・4年度 第3回複合構造委員会 議事録(案)
- 委 4-3 審議事項一覧
- 委 4-3-1 メール審議結果の報告
- 委 4-3-2 運営細則等の修正について
- 委 4-3-3 H109 複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会 委員構成(案)
- 委 4-3-4 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用と性能照査型設計法の確立に向けた研究小委員会 設立趣意書
- 委 4-4 令和4年度委員会予算執行状況
- 委 4-5 令和3・4年度 第8～11回複合構造委員会幹事会報告
- 委 4-6 令和5年度重点研究課題(研究助成金)の募集について
- 委 4-7-1 令和4年度年木学会全国大会 次学術講演会(共通セッション)
- 委 4-7-2 令和4年度土木学会全国大会 研究討論会
- 委 4-7-3 令和5年度全国大会共通セッションテーマ申込みについて
- 委 4-8 第9回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 委 4-9 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造
- 委 4-10 複合構造の継続教育
- 委 4-11 出版関連報告
- 委 4-12 複合構造委員会小委員会一覧
- 委 4-13 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委 4-14 H108 土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会
- 委 4-15 H109 複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会
- 委 4-16 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 委 4-17 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

- 委 4-18 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
委 4-19 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
委 4-20 H221 樹脂・FRP 材料による複合技術研究小委員会
委 4-21 次期委員長候補者選挙結果について（当日配布）

議事内容：

1. 委員長挨拶

松本委員長より、開会の挨拶がなされた。

2. 第3回委員会（令和3・4年度）議事録案確認

山本幹事より、議事録案が紹介された。

- ✓ (8)第7回幹事会の日時は3/18(誤)→5/18(正)に修正
- ✓ (8)書籍の電子データの委員会内の共有が可能かを確認
- ✓ (9)活動表は令和2年度(誤)→令和3年度(正)に修正
- ✓ (16)CHBDCにおけるイメージーション(誤)→エバリュエーション(Evaluation)(正)に修正

【審議事項】

3. 審議事項（メール審議結果の報告を含む）

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会委員構成案

齋藤幹事長より、メール審議によって委員構成が承認されたことが報告された。

(2) 運営細則等の修正について

齋藤幹事長より、メール審議による修正が数回行われたことが報告された。資料 委 4-3-2 の修正内容で、委員会の承認が得られた。

(3) H109 複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会の委員構成

仁平幹事より、委員構成の説明があり、承認された。

- ✓ 林委員の所属は大阪市立大学でなく大阪公立大学に修正する。

(4) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用と性能照査型設計法の確立に向けた研究小委員会の設立について

内藤幹事より、新規委員会の設立趣意が説明された。

- ✓ 上田顧問から、プレキャスト工法の活用による環境負荷低減や持続型社会への貢献についても、委員会で議論して欲しい、とのコメントがあった。
- ✓ 齋藤幹事長より、学会誌への掲載など、委員募集の進め方について説明があった。6-8月頃に第1回目の委員会が開催できるように、準備を進めていく。

【報告事項】

4. 令和4年度委員会予算執行状況

齋藤幹事長より、これまでの予算執行状況と残高の報告があった。今後の支出として、3月の幹事会での支出が見込まれている。

5. 幹事会報告（第8～11回幹事会(R3・4)議事録確認）

齋藤幹事長より、過去4回分の幹事会議事録が紹介された。

6. 令和5年度重点研究課題（研究助成金）の募集について

塩畑幹事より、重点研究課題について説明された。

- ✓ 今年は、応募締切りが12月に早まった。
- ✓ 複合構造委員会では、Society 5.0やデジタルツインの実現に向けた議論と課題整理を目的とする申請書を提出した。
- ✓ 上田顧問より、土木学会でもデジタルツインに関する委員会があることが紹介された。申請課題が採択された場合には、既存委員会とも連携を図っていくとよい。

7. 令和4年度全国大会（共通セッション）

齋藤幹事長より、資料に基づいて説明された。

- ✓ 令和5年度の広島大会では、会場が2つに分かれる（資料では3箇所とあるが上田顧問より広島大学の東千田キャンパスは使用しなくなったとの情報）。共通セッションについては、オンラインを併用して各会場を繋げることが企画されている。

8. 令和4年度全国大会（研究討論会）

大久保幹事より、300年間長期暴露プロジェクトに関する研究討論会の報告があった。

- ✓ 討論会の開始直後に接続トラブルがあったが、復旧が早く、大きな問題にはならなかった。
- ✓ オンラインでの聴講人数は120名を超えており、盛況であった。

9. 第9回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム

仁平幹事より、資料に基づいて説明された。

- ✓ 今年度のシンポジウムは無事に終了した。
- ✓ 来年のシンポジウムは土木学会の主催になる。盛況なシンポジウムになるように、引き続き、準備を進めていく。

10. 土木学会論文集A1特集号：複合構造

櫻庭幹事より、資料に基づいて説明された。

- ✓ 現在、8編の査読取りまとめを進めている。
- ✓ 締切り翌日に、投稿の問合せがあった。投稿要領に則り、受理しなかった。
- ✓ 評価が高かった昨年度の報告1件を田中賞（論文）に応募している。

11. 複合構造の継続教育

大久保幹事より、資料に基づいて説明された。

- ✓ 複合構造セミナーは、参加者20名を上限として、対面での手厚い演習とした。参加者からの反応や評判はよかった。
- ✓ 中村顧問より、「とても良い取り組みなので、作成した資料や演習問題は、Eラーニング等でも活用して欲しい」、とのコメントがあった。

12. 出版関係報告

櫻庭幹事より、資料に基づいて説明された。

13. 小委員会報告

各小委員会の委員長あるいは連絡担当幹事より、資料に基づいて報告された。

- ✓ 渡辺委員より、複合構造標準示方書小委員会の進捗状況と今後のスケジュールが説明された。今年の8月頃に1次原稿が提示できるように、進めていきたい。
- ✓ 大久保幹事より、土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会の説明があった。中島顧問より、押抜き試験のボルトで接合した鋼材部などの長期耐久性について質問があった。
- ✓ 複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会は、審議事項にて、委員構成が承認された。
- ✓ 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会は、本日、委員会終了報告がなされた。
- ✓ 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会は、本日、委員会終了報告がなされた。
- ✓ 橋本幹事より、FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会の成果の取りまとめが行われていることが報告された。全国大会の研究討論会に向けての準備も進めている。
- ✓ グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会について、川端幹事から説明された。渡辺委員より、グリーンインフラに対する指針や示方書での基準化も検討して欲しいとの要望があった。
- ✓ 橋本幹事により、樹脂・FRP材料による複合技術研究委員会の状況が説明された。1月に第1回目の委員会が開催された。

14. 終了小委員会の活動成果報告

- ✓ 下村小委員会委員長より、H215複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会の活動報告がなされた。
- ✓ 渡辺小委員会委員長より、H216複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会の活動報告がなされた。

15. 次期委員長候補者選挙結果

- ✓ 齋藤幹事長より、選挙結果が報告された。無効票1つを除いて、全てが信任票であり、牧副委員長が次期委員長候補となる。
- ✓ 牧副委員長から、次期委員長就任に向けた意気込みが語られた。

16. その他

(1) IABSE (2025) の紹介

中村顧問より、パワーポイントでの紹介があった。

- ✓ 2025年に、IABSEが東京で行われる。
- ✓ 関西方面での大阪万博の関連施設などの見学も考えている。
- ✓ 受賞項目や、これまでの受賞内容の傾向が紹介された。
- ✓ 複合構造委員会でMini Sessionを立ち上げるなど、積極的に活用して欲しい。

(2) ISO CFST Code の紹介

上田顧問より、ISO での CFT のコード策定状況の紹介があった。

- ✓ 利用促進の立場の中国が主体となって CFT (Code 内での表記は CFST) のコード策定が進められている。
- ✓ CFT 部材をコンクリート内に埋め込む使用方法も想定されている。
- ✓ 日本側としては国内実績のある矩形断面の CFT も取り入れて欲しいと考えており、コード策定に協力していくつもりであるので、必要に応じて複合構造委員会も協力して欲しい。

17. 閉会挨拶

牧副委員長から、閉会の挨拶があった。

以上

(記録：内藤)